

信州気候変動適応センター通信 No.4

信州の気候変動対策・防災力を向上させるには!?

— 市町村向けの実践的研究を行っています —

◆ 気候変動と防災

今後、ますます懸念されている巨大台風や、それに伴う土砂災害等々…こうした新たな脅威に、我々は一体どのように対応すれば良いのでしょうか？

その答えとなるかもしれない方法の一つが、「気候変動×防災」です。つまり、今後に予測される地球環境の変化を見据えた防災対策を行っていくということが重要です。

◆ 研究概要

従来の防災訓練などでは、そのような視点を採り入れたものは、あまり多くありませんでした。

次世代を担う子ども達への防災教育の中に、このようなアプローチを採り入れていくことは、とても大切なことです。

自分たちが暮らすまちの中に、こうした「気候変動×防災」の“仕組み”を、いかに創っていくことができるか？を考えることが現在行っている私の研究です。

◆ 長野県など地方の課題

しかし、その解決のためには多くの問題が横たわっています。その中でも、それに立ち向かう「人材」と必要な「お金」の不足は、特に深刻です。

また、そのような「リソース」がないからといって、手をこまねいている時間は、もはや残されていません。今ある手がかりをうまく活用し、それぞれの地域に合った対策にしぼりこまなくてはなりません。

表 県内市町村に対するアンケート調査

項目	問番号	設問
①認知度	1	適応の認知度
②気候変動とその影響の把握	2	市町村への気候変動の現状認識
	3	気候変動影響の深刻度
③適応防災取組状況	4	最優先に対策する自然災害の種類
	5	洪水に関する具体的取組
	6	内水に関する具体的取組
	7	土石流・地すべりに関する具体的取組
④暑熱対策状況	8	強風に関する具体的取組
	9	クーリングシェルター指定件数(予定数)
⑤適応計画・適応策策定推進	10	適応を施策/事業に位置付けている計画等
	11	気候変動関連業務を推進するための取組
	12	適応策を推進する上での優先的課題
	13	〃(その他を選んだ場合の理由)
	14	優先的課題解決のための要素
	15	〃(その他を選んだ場合の理由)
	16	複数市町村合同策定機会要否
17	〃(その他を選んだ場合の理由)	



写真 小学校での「気候変動×防災」教育出前講座の様子

◆ 課題解決に向けて

そこで、従来の防災技術や、これまで構築してきた制度を活用しつつ、科学的な根拠に基づく最新の気象データや国際的な新しいルール等を上手に組み合わせながら、この信州の地に見合った方法へと落とし込んでいくステップが必要になります。

そのためには、県内の各地域の取組みの実態を正確に把握する必要があります。そこで、まずは各市町村に対してアンケート(表)やヒアリング調査を行いました。

さらに、研究だけに留まらず、その課題の解決に結び付ける活動も始めました。2024年1月には、学校コミュニティを中心に、町や県、そして我々の研究所が加わり、子ども達への「気候変動×防災」に関する普及啓発として出前講座を実施しました(写真)。

具体的な成果にはまだつながっていませんが、自分たちが暮らすこの地域の新たなリスクに「できる限りの貢献をしたい」と、教職員や保護者など、多くの方々が継続的な参加の意思を示してくれました。

◆ 県政・市町村、そして地域住民へのアウトプット

今後も、これら気候変動に関する諸課題に取り組む市町村の担当者の方々を下支えできるよう、こうした研究と活動を続けていく予定です。

ここ長野県に暮らす人々の未来が安心・安全で、真に持続可能な地域社会の実現につなげていくことが私の夢です！
(大木 洋平/自然環境部)